



2023年2月14日

各位

会社名 ソースネクスト株式会社  
代表者 代表取締役社長兼 COO 小嶋 智彰  
(コード番号 4344 東証プライム)  
問合せ先 取締役兼 CFO 青山 文彦  
電話番号 03 - 6254 - 5231

## 業績予想の修正に関するお知らせ

ソースネクスト株式会社は、最近の業績の動向を踏まえ、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年3月期 通期連結業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株あたり 当期純利益 円
前回発表予想(A)	12,795	△850	△945	△995	△7.34
今回修正予想(B)	10,959	△2,058	△2,124	△2,089	△15.42
増減額(B-A)	△1,835	△1,208	△1,179	△1,094	
増減率(%)	△14.3%	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	10,307	△2,259	△2,128	△3,502	△25.77

#### 2. 修正理由

当第3四半期連結累計期間における当社業績はAIボイスレコーダー「AutoMemo(オートメモ)」や「いきなりPDF」等主力ソフトウェアの販売が好調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化により、インバウンド・アウトバウンド需要の回復が想定よりも遅れ、AI通訳機「POCKETALK(ポケットーク)」の外部環境は厳しい状態が続いております。

2022年5月12日に公表した通期連結業績予想においては、「ポケットーク」の需要回復が当第4四半期にはパンデミック以前の水準になることを想定し、業績予想を作成していましたが、日本政府観光局報道発表資料によると、2022年12月時点で訪日外客数、出国日本人数が、それぞれ2019年比で54.2%、25.2%の回復に留まり、パンデミック以前の水準に戻るには時間がかかると判断し、「ポケットーク」の売上高の着地見込みを引き下げることいたしました。

2022年2月にポケットーク事業を分社化して以降、製品ラインナップ及び事業展開の強化を目的として新製品の開発投資、新規人材獲得を中心とした人材への投資を緩めることなく進めてきました。需要の回復は想定より遅れているものの、インバウンドは急速な勢いで回復しています。さらに、中国政府のゼロコロナ政策転換や日本政府が新型コロナウイルスの感染症法上の分類を5月8日に「5類」に引き下げると決定するなど、今後、インバウンド・アウトバウンド共に急速な回復が見込めると考え、2023年3月から新TVCMを放映開始するなど、引き続き更なる事業成長のために投資を継続していく予定です。

「ポケットーク」事業以外においても、市場ニーズに合致したソフトウェア、IoT製品を投入し、新たな市場をスピーディに創出していく経営方針に基づいた製品戦略と経営基盤を引き続き構築して参ります。  
※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

以上